2020年度

# 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業所番号 | 1491000210 | 事業の開始年月日 | 平成16年1月1日 |
| | | 指定年月日 | 平成20年4月1日 |
| 法人名 | 社会福祉法人豊笑会 | | |
| 事業所名 | ライフインハウス平戸 | | |
| 所在地 | （〒244-0803　　）<br>神奈川県横浜市戸塚区平戸町1156-2 | | |
| サービス種別<br>定員等 | □　小規模多機能型居宅介護 | 登録定員　名<br>通い定員　名<br>宿泊定員　名 | |
| | ■　認知症対応型共同生活介護 | 定員　計　18 名<br>ユニット数　2 ユニット | |
| 自己評価作成日 | 令和2年10月10日 | 評価結果<br>市町村受理日 | 令和3年3月15日 |

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|---|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/ |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者様の今までの生活習慣を大切にし、日常生活の中で無理のない範囲で、出来ることは行なって頂き、出来ない所だけを補うようにし、「穏やかな微笑みの介護」をモットーにし、ご利用者様一人ひとりのペースにできるだけ合わせて、必要な支援を行っていくように心掛けています。

季節ごとの行事やボランティアによる催し、毎日のレクリエーションを通じて単調な生活にならないように工夫しています。納涼祭などの大きな行事は、法人内の事業所同士で協力し合いご本人とご家族がいっしょに楽しめるように行なっています。

天気の良い日は出来る限り、屋外に出るようにし、散歩や買物を楽しんで頂けるように努力しています。

歌がお好きなご利用者が多いため、いつも歌声が響いている明るいホームです。

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|---|---|---|---|
| 評価機関名 | 株式会社フィールズ | | |
| 所在地 | 251-0024 神奈川県藤沢市鵠沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階 | | |
| 訪問調査日 | 令和2年11月24日 | 評価機関<br>評価決定日 | 令和3年2月25日 |

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所はＪＲ横須賀線「東戸塚」駅東口から神奈中バスに乗り「坂下口」バス停で下車し徒歩５分の緑が多い住宅地にあります。バス停のそばには、回転すしチェーン店やその他の飲食店、コンビニエンスストアもあり、散歩がてらの買い物が簡単にできます。運営法人は横浜を拠点に特別養護老人ホームをはじめ各種の高齢者介護施設などを運営する社会福祉法人です。

＜優れている点＞

法人の名前は豊笑会と言い、施設長はじめスタッフ全員が明るく前向きで元気があります。「豊笑」を体現する事業所の想い、勢いが感じられます。計画性のある水分補給を支援しています。食事、おやつの前後の水分補給はとても重要な行為です。陶器の湯飲みではなく、透明のコップを利用して水分量の計測が容易にできる仕組みを作っています。結果、今日の摂取量は各人何杯だったかなど正確な情報を業務日誌に記録しています。災害時の備蓄品目の中には「厳重に管理された利用者全員への処方箋薬」を備蓄ストックとして１週間分保管しています。施設長の直接管理でローテーションも行っています。

＜工夫点＞

常勤、非常勤を問わず毎日、早番のスタッフがその日１日のリーダーとしてスケジュール管理などを指導、確認して業務を遂行しています。全員が業務に責任を持つという事を自覚する大事なＯＪＴの一環として取り組んでいます。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

| 評価項目の領域 | 自己評価項目 | 外部評価項目 |
|---|---|---|
| Ⅰ 理念に基づく運営 | 1 ～ 14 | 1 ～ 7 |
| Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | 15 ～ 22 | 8 |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 23 ～ 35 | 9 ～ 13 |
| Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 36 ～ 55 | 14 ～ 20 |
| Ⅴ アウトカム項目 | 56 ～ 68 | |

| 事業所名 | ライフインハウス平戸 |
|---|---|
| ユニット名 | 1F |

## Ⅴ　アウトカム項目

| | | | |
|---|---|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。<br>（参考項目：23,24,25） | | 1，ほぼ全ての利用者の |
| | | ○ | 2，利用者の2/3くらいの |
| | | | 3．利用者の1/3くらいの |
| | | | 4．ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。<br>（参考項目：18,38） | ○ | 1，毎日ある |
| | | | 2，数日に1回程度ある |
| | | | 3．たまにある |
| | | | 4．ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。<br>（参考項目：38） | | 1，ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2，利用者の2/3くらいが |
| | | | 3．利用者の1/3くらいが |
| | | | 4．ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。<br>（参考項目：36,37） | | 1，ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2，利用者の2/3くらいが |
| | | | 3．利用者の1/3くらいが |
| | | | 4．ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。<br>（参考項目：49） | | 1，ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2，利用者の2/3くらいが |
| | | | 3．利用者の1/3くらいが |
| | | ○ | 4．ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。<br>（参考項目：30,31） | ○ | 1，ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2，利用者の2/3くらいが |
| | | | 3．利用者の1/3くらいが |
| | | | 4．ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。<br>（参考項目：28） | | 1，ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2，利用者の2/3くらいが |
| | | | 3．利用者の1/3くらいが |
| | | | 4．ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。<br>（参考項目：9,10,19） | | 1，ほぼ全ての家族と |
| | | | 2，家族の2/3くらいと |
| | | ○ | 3．家族の1/3くらいと |
| | | | 4．ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。<br>（参考項目：9,10,19） | | 1，ほぼ毎日のように |
| | | | 2，数日に1回程度ある |
| | | ○ | 3．たまに |
| | | | 4．ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。<br>（参考項目：4） | | 1，大いに増えている |
| | | ○ | 2，少しずつ増えている |
| | | | 3．あまり増えていない |
| | | | 4．全くいない |
| 66 | 職員は、活き活きと働けている。<br>（参考項目：11,12） | | 1，ほぼ全ての職員が |
| | | ○ | 2，職員の2/3くらいが |
| | | | 3．職員の1/3くらいが |
| | | | 4．ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | | 1，ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2，利用者の2/3くらいが |
| | | | 3．利用者の1/3くらいが |
| | | | 4．ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | | 1，ほぼ全ての家族等が |
| | | ○ | 2，家族等の2/3くらいが |
| | | | 3．家族等の1/3くらいが |
| | | | 4．ほとんどいない |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅰ　理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 安心・安全・安定した介護を行っている。 | 理念の共有とは、それを掲げるだけではなく全員が実践する事だという施設長の思いが職員皆を動かしています。職員と利用者の会話、笑い声、自由な寛ぎの様子が至る所で見受けられ、安心・安全・安定の３つの安が決意表明と成っています | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | ・他グループホームとの情報の共有や交換研修を行っている。<br>・介護職や看護職の研修生の受け入れなどを行っている。<br>・納涼祭などの催事やレクリエーションに地域の方の参加を呼びかけ、協力して頂き参加して頂いたりしている。<br>・町内の年始行事や夏祭りなどに参加している。 | 事業所主催の納涼祭に町内会や隣人の参加があり盛り上がっています。町内会の夏祭りには利用者も参加しています。お話やウクレレ演奏のボランティアの来訪もあります。今はコロナの影響で中止していますが、無償ボランティアや専門学校の実習生の体験受け入れも検討していました。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 近隣の中学校の福祉体験学習や区内にある介護福祉専門学校の実習生、看護学校の学生の現場実習を受け入れている。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議で活動状況を報告し、各委員より意見をもらっている。改善できる内容は、職員会議等で検討している。 | 運営推進会議は家族数名、民生委員、地域包括センター職員と施設長が参加し２ヶ月に１度開催しています。開催時には地域包括センター職員が毎回出席をして、政策の実施状況及び具体的案件事例の報告があり、それが会議活性化につながっています。 | |
| 5 | 4 | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 戸塚区グループホーム連絡会に参加し、情報交換をしている。また、地域包括支援センターの担当者には、毎月定期的に訪問して頂いており、何かあれば相談している。 | 毎月、地域包括支援センターから行政側の情報詳細の開示があり役立っています。法人内に包括センターに勤務した経験者もおり、行政との関わり方を習得していける環境があります。市の主催する研修会にも参加しています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | ・現在拘束を要する利用者がいないため身体拘束に関しては、実施していません。 | 身体拘束をしないケアを実践しています。毎月のフロアー会議で施設長が話をしたり、マニュアルを基に研修をしています。ベテランの職員が多い職場で皆が身体拘束に対して正しく理解し対応しています。新人研修ではマニュアルの内容やＯＪＴで状況に応じた対応を正確に学んでいます。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている | ・職員間のミーティングを行っている。<br>・スタッフ各人からの話を小まめに聞いて、前兆がないか確認に努めている。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | ・成年後見人制度など、必要があればその都度、家族等の相談にのっている。<br>・スタッフの学びについて、これからミーティングの時などに学ぶ機会を設けていきたい。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約書、重要事項説明書に基づき細かい説明を心掛けている。また、改定時にも理解して頂ける様に、丁寧に説明している。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | ・ご利用者、ご家族からの要望等は、出来る限り意見が反映されるように、その都度職員間で検討するようにしている。<br>・家族の面会時、スタッフが家族との情報交換に努めている。 | 苦情箱などの設置はしていませんが、家族の来訪時に利用者の現状を説明し、意見交換を行っています。フロア長をはじめベテラン職員も多く配置しており、意見をまとめてケアプランにも即時反映しています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | ・ホーム長も含めミーティングを行っている。<br>・管理者とスタッフが個別で面談し、話を聞かせてもらう機会を作っている。 | フロア長と職員は日頃からミーティングや日報、月１回のフロア会議で活発な意見交換をしています。法人幹部も毎週１、２回来訪して、現場の状況を聴き取っています。施設長は職員の処遇向上に強い意識と公正な姿勢で対応しています。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 法人本部職員が定期的に事業所を訪問し、職員個々の就業状況の把握に努めており、職場環境の改善、整備をしている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 研修を行っている。<br>外部の研修に参加し、新しい情報を収集して発表している。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている | ・研修や連絡会がある。<br>・法人のグループホーム連絡会の内容を、ミーティングの時に話し、情報共有している。 | | |
| Ⅱ　安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 利用者の方には、声掛けを大切にし、傾聴しながら、不安、要望等を探り、出来るだけ安心感を与えられるよう心掛けています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>　サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 面会時等にご家族にお声掛けし、要望を伺ったり、状況の説明等をさせて頂いたりしている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | グループホームで出来る事、出来ない事を説明し、ご本人とご家族にとって一番良いと思われる支援を共に考え、アドバイスするように心掛けている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 家族のように何でも言い合える関係を作っている。 | | |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 利用者と家族に、必要に応じて電話などしてもらい、関係を作ってもらうようにしている。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | ・ご家族や友人等の面会、外出、電話などの支援をしている。<br>・古くからの友人が面会に来られた際などに、今までのお話を聞かせてもらったりしている。 | 家族や友人の来訪時は、リビングや居室で過ごしています。訪問美容も２ヶ月に１回は来て貰い、全員が馴染みの理容師に整髪してもらっています。携帯電話の保有者も数名いますが、利用者は事業所の固定電話を使い、家族や友人と話しています。家族と一緒に１泊の外泊をする利用者もいます。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 席替えやレクを行って、利用者同士の関係を深める工夫をしている。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退所後、自宅へ戻られたご利用者は少ないが、電話等で連絡を取ったりしている。長期入院のため退所したご利用者の病院に面会に行き、再入所の可能性があればご家族と相談する場合もある。 | | |
| Ⅲ　その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 一人一人の意思を尊重し、日常生活および嗜好品に関してもできる限り継続できるようにしている。 | 職員は利用者の想いやその時々の気持ちの変化を細かく観察しながら、声掛けをし、素直な聴き手として振舞っています。居室内やクローゼットの中に何か小さな変化や乱れは起きていないか、居室担当と施設長は繊細に見守りをしています。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ・好きなこと、嫌いなことを把握し、レクなどを考えている。<br>・生活リズムに関して一定の基準を設けているが、なるべく通常の生活リズムに慣れて頂くように心がけている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 毎月ＡＤＬの見直しを行ない、利用者の体調・状態を把握する。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ・ミーティングを行い話し合う。<br>・居室担当者を設けることで、個々に合ったサービスの実施を行なっている。 | 初期のケアプランは３ヶ月で見直すようにしています。家族の情報を傾聴し把握しています。家族が利用者に感じている印象と職員が感じた間に相違が有る場合は早急に修正対応しています。認知症を学び、毎日接している職員の観察眼から得られた知見を大切にしています。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 業務日誌や申し送り気付きノート等を利用して、情報共有している。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | ・ご家族やご利用者の状況に応じて、法人内の事業所間で検討が必要な場合は、総合的に支援ができる体制を整えている。<br>・個別のニーズに答えるため、訪問マッサージの手配をしている。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 定期的にピアノ演奏等のボランティアの方に来訪していただいている。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診診断<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 訪問診療、訪問歯科を利用しているが、その他の通院も支援している。 | 同意を得て協力医療機関をかかりつけ医とし、月２回の往診と週１回の訪問看護で健康管理をしています。皮膚科、外科、脳外科の外来受診は施設長が付き添い、結果を家族、訪問医に繋げています。「安心・安全・安定した日々」の医療支援に取り組み、利用者、家族の信頼を得ています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働<br>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 日々の利用者の状態・体調などを訪問診療時に伝えている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 病院・家族と連絡を取り、利用者の現状を把握している。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 何度かターミナルの対応を行っている。 | 終末期には、家族、医師、看護師、施設長、職員で話し合い、医師より経過状況、施設長より支援体制を説明し、再度看取りの方向を決めています。家族の面会や泊まりも可能です。経験豊富な施設長がリーダーシップを取り、事前研修や緊急時の駆け付け体制で職員の安心にもつながっています。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | ・ミーティング時などに話をする。<br>・研修や個別指導等を行ない緊急の対応に備えている。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 避難訓練やマニュアルを読み、目につくところに掲示してある。 | 年２回避難訓練を実施し、１回は消防署立ち合いで指導を受けています。火災の場合は１階は玄関２階はベランダへの避難指示があり、緊急時は隣接する高齢者施設との協力体制が取られています。備蓄は必要な物品、３日分の食料と１週間分の薬を備蓄し、リスト表も作成しています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅳ　その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 利用者一人一人にあった対話を心掛け、ゆっくりと穏やかに接するよう心掛けている。 | 入居時に個人情報保護の説明と了承を得て写真を便りに掲載をしています。研修で理解を深め、利用者との距離感を保ちつつ、命令口調や馴れ馴れしい言葉遣いにならないよう節度ある態度で接しています。毎日の声かけやスキンシップで信頼関係の構築に努め穏やかな生活につなげています。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 希望を伺う時には選択肢を用意したりして、自己決定のチャンスを作るようにしている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 利用者が希望するレクなどを聞いて実施している。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | ・2ヶ月に1回訪問理容に来て頂いている。<br>・理髪店、美容室などにスタッフが同行することもある。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | ・食器ふき、片付けなど、できることを利用者様に手伝ってもらっている。<br>・外食や季節に合わせた食事などを行なうことで日々の食生活にメリハリをつけている。 | 業者の献立付きの食材を購入し、職員が調理し手作り感のある食事を提供しています。１日２回のおやつ、刻み食やミキサー食もあります。職員も一緒に食し、和やかな雰囲気です。特別メニューの取り寄せ、寿司や豚カツ弁当、ハンバーガーの外食など楽しい食事を支援しています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | ・チェック表を書いて１日の食事量、水分量等を把握している。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | ・毎日３回口腔ケアを行っている。<br>・訪問歯科に来て頂いている。必要に応じて治療を行って頂く。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | トイレの間隔などその方のタイミングで声掛けをしている。 | 車椅子用トイレが各階２ヶ所あり、１ヶ所は２人介助が可能です。排泄、水分、食事表をチエックし排泄タイミングを確認し声掛けをしています。陶器の湯呑から持ち手のある透明で安全なプラスチックコップに代えて水量も増え、１日の必要な水分量を摂取しています。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 個々に合わせた対応を心掛けている。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | 入浴時間は決まっているが、本人の希望で入る入らないは決めて頂いている。 | 基本、週２回の入浴をしています。拒否時は、職員が交代で時間をおいて声掛けし無理強いしないよう配慮をしています。体の状況や思いを聴く機会を大切にして気づきを連絡ノートに記録し共有しています。自立入浴が困難な場合は２人介助で支援し、気持ちのよい入浴となるよう心掛けています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 疲れていたり、眠そうな時は居室で休まれるように声掛けしている。 | | |
| 47 | | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | チェック表があるため、薬を理解している。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 利用者が希望するレク、好きなレクなどを実施している。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | ・スタッフが同行し近隣の散歩、買い物などに一緒に行く。<br>・家族の協力もあおいで、外出もしてもらっている。 | 天気の良い日は、近くの公園の散歩を日課としています。玄関先の広いスペースにあるベンチでの外気浴や体操もしています。車でおやつのパンや珈琲の買物をしたり、周辺のドライブに交代で出かけています。花好きな入居者夫婦の思いに寄り添い、花屋に出かけた事例もあります。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | できていない。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 利用者の希望に合わせ、電話などをしている。 | | |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 掃除チェック表があり、常にキレイに保っている。 | エアコン、加湿器、大型空気清浄器で温度や湿度の管理をしています。壁には季節を感じる作品を飾り明るい雰囲気作りに配慮しています。ソファーや椅子での新聞・語らい、自由に出入りできるベランダでは外気浴、パズル、貼り絵、歌唱など思い思いに過ごしている姿が見られます。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | ベランダやソファーなどがある。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室には本人が長年利用されてきた家具や寝具などを持ち込んで頂いたり、家族の写真など本人の愛着のある物を置いたり、心地よく過ごせるように配慮している。 | ベット、エアコン、照明、クローゼットが備え付けです。広いクローゼットには衣類やおむつなどが収納でき、室内はゆったりとした空間です。壁には慣れ親しんだものを飾りその人らしさがあります。居室担当は、清掃、衣類の整理、必要な買い物の手助けをしています。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 建物内はバリアフリーで安全に移動が出来るようになっている。トイレや居室がわかるように表示などを工夫している。 | | |

| 事業所名 | ライフインハウス平戸 |
|---|---|
| ユニット名 | 2F |

## Ⅴ　アウトカム項目

| | | | |
|---|---|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。<br>（参考項目：23,24,25） | | 1，ほぼ全ての利用者の |
| | | ○ | 2，利用者の2/3くらいの |
| | | | 3．利用者の1/3くらいの |
| | | | 4．ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。<br>（参考項目：18,38） | ○ | 1，毎日ある |
| | | | 2，数日に1回程度ある |
| | | | 3．たまにある |
| | | | 4．ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。<br>（参考項目：38） | | 1，ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2，利用者の2/3くらいが |
| | | | 3．利用者の1/3くらいが |
| | | | 4．ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。<br>（参考項目：36,37） | | 1，ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2，利用者の2/3くらいが |
| | | | 3．利用者の1/3くらいが |
| | | | 4．ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。<br>（参考項目：49） | | 1，ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2，利用者の2/3くらいが |
| | | | 3．利用者の1/3くらいが |
| | | ○ | 4．ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。<br>（参考項目：30,31） | | 1，ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2，利用者の2/3くらいが |
| | | | 3．利用者の1/3くらいが |
| | | | 4．ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。<br>（参考項目：28） | | 1，ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2，利用者の2/3くらいが |
| | | | 3．利用者の1/3くらいが |
| | | | 4．ほとんどいない |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。<br>（参考項目：9,10,19） | | 1，ほぼ全ての家族と |
| | | | 2，家族の2/3くらいと |
| | | ○ | 3．家族の1/3くらいと |
| | | | 4．ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。<br>（参考項目：9,10,19） | | 1，ほぼ毎日のように |
| | | | 2，数日に1回程度ある |
| | | ○ | 3．たまに |
| | | | 4．ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。<br>（参考項目：4） | | 1，大いに増えている |
| | | ○ | 2，少しずつ増えている |
| | | | 3．あまり増えていない |
| | | | 4．全くいない |
| 66 | 職員は、活き活きと働けている。<br>（参考項目：11,12） | | 1，ほぼ全ての職員が |
| | | ○ | 2，職員の2/3くらいが |
| | | | 3．職員の1/3くらいが |
| | | | 4．ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | | 1，ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2，利用者の2/3くらいが |
| | | | 3．利用者の1/3くらいが |
| | | | 4．ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | | 1，ほぼ全ての家族等が |
| | | ○ | 2，家族等の2/3くらいが |
| | | | 3．家族等の1/3くらいが |
| | | | 4．ほとんどいない |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅰ　理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 理念を目に付く所に貼り常に意識するように心掛けている。 | | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | ・玄関前でレクリエーション等を行っていると、その輪の中に入ってきてくれる地域の方が増えてきている。<br>・納涼祭などの催事やレクリエーションに地域の方の参加を呼びかけ、協力して頂いたり、参加して頂いたりしている。<br>・町内の夏祭りなどに参加させて頂いている。 | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 散歩の時など、地域の方との会話を通し、理解して頂けるように心掛けている。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | ・運営推進会議で活動状況を報告し、各委員より意見をもらっている。改善できる内容は、職員会議等で検討している。<br>・率直な意見を頂けるのでサービス向上に役立っている。 | | |
| 5 | 4 | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 戸塚区グループホーム連絡会に参加し、情報交換をしている。また、地域包括支援センターの担当者には、毎月定期的に訪問して頂いており、何かあれば相談している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 見守り強化を常に意識し、拘束をしないケアを実践している。 | | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている | 職員同士の話し合いの機会を設け、虐待防止の徹底を図っている。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>　管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 成年後見人制度を活用しているご利用者もいる。必要があればその都度、家族等の相談にのっている。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約書、重要事項説明書に基づき細かい説明を心掛けている。また、改定時にも理解して頂ける様に、丁寧に説明している。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 日頃の会話の中からも意見・要望を汲み取り、反映できるよう努力している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 代表者は、各事業所の管理者を招集した会議や法人内グループホーム連絡会を開催し、意見や提案を聞いている。また、管理者は毎月のユニット会議の中で職員の意見を聞いている。 | | |
| 12 | | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 法人本部職員が定期的に事業所を訪問し、職員個々の就業状況の把握に努めており、職場環境の改善、整備をしている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 法人内事業所の新任職員を対象にオリエンテーション、新人研修を行なっている。外部研修への参加の機会も徐々に増やしている。管理者、ユニットリーダーが中心となり、現場の指導にあたっている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている | 横浜市グループホーム連絡会や戸塚区グループホーム連絡会にて、勉強会や情報交換をしている。隣接するグループホームとは、防災訓練や行事等で日常的に情報交換をしている。 | | |
| Ⅱ　安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 面接シートを参考に会話や表情から要望等を把握し、より良い関係作りを心掛けている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 会話を通し、不安や要望を汲み取る。またご家族がいつでも面会に来れる環境を整えている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | ・グループホームで出来る事、出来ない事を説明し、ご本人とご家族にとって一番良いと思われる支援を共に考え、アドバイスするように心掛けている。<br>・本人と家族の希望を最優先し、スタッフの意見も取り入れて、必要な支援を行っている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | ・日常の家事作業は全て利用者と一緒に行っている。<br>・但し、認知症の症状や歩行状態の悪化のため、できない作業が増えてきている。 | | |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 利用者の状況や希望を伝え、外出や買い物等をお願いしている。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 気軽に誰でも面会に来て頂けるよう心掛けている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 食事の席を工夫したり、時には職員も交えた茶話会を行い、関わりが持てるよう努めている。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | ・退所後、自宅へ戻られたご利用者は少ないが、電話等で連絡を取ったりしている。長期入院のため退所したご利用者の病院に面会に行き、再入所の可能性があればご家族と相談する場合もある。<br>・電話連絡やお見舞い等も行っている。サービス利用が終了したご家族がボランティアに来てくださっている。 | | |
| Ⅲ　その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 会話や表情から希望や意向が把握できるよう努めている。 | | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 生活歴などを台帳にまとめ、職員がいつでも目が通せるようにしている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 申し送りや、気づきノートを活用し、現状の把握に努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ・課題に直面する度に話し合いをしている。<br>・本人と家族の意見を最優先とする。 | | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 個別記録に毎日記録し、情報を共有している。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 本人や家族のニーズに応えられるよう努めている。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | ・定期的にピアノ演奏等のボランティアの方に来訪していただいている。<br>・家族、近隣住民、友人、ボランティアさん等の力をお借りして支援している。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診診断<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 受診時に職員が付添、本人や家族の希望を主治医に伝えている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働<br>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | ・現在、すべての利用者は2週間に1回、訪問診療を受けており、主治医と看護師に日常面での健康管理について相談をしている。診療日以外で、利用者の健康上の問題がある場合は看護師に連絡し、相談している。<br>・訪問看護の際、スタッフが付き添い、状態を伝えている。また連絡ノートも活用している。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 病院関係者との情報交換は受診時及び特変時に行っている。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | ・家族や利用者の意向を踏まえ、重度化した場合の対応について職員間での話し合い、方向性を考えている。重度化し対応困難な場合は、法人内の他サービスで支援が可能であるか、随時検討できる体制を整えている。<br>・書面でご家族の意向を確認している。 | | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 緊急時必要な応急処置、対応をミーティング等で確認し合っている。事故発生時は管理者、ユニットリーダーと連絡を取り、指示のもと適切に対応している。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | ・火災訓練を毎年行っている。年に2回実施。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅳ　その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 常日頃意識しながら、言葉掛けや対応をしている。 | | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 何事に対しても強要したりせず、自己決定して頂けるようにしている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 自宅と同じように過ごして頂けるよう心掛けている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | ・洋服はできる限りご自分で選んで頂いている。<br>・女性の利用者様には、時々メイクをして差し上げている。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 盛り付け、片付けなどを一緒に行う。また食べたい物を聞き、外食したり、買って来たりもしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事量、水分量をチェック表に記入し、量を把握し、咀嚼、嚥下状況により、とろみを付けたり、刻みにしたりの工夫をしている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | ・毎食後本人の力に応じた口腔ケアを行っている。<br>・うがいの苦手な利用者様には、食事の最後にゼリーを食べて頂いたり、お茶を飲んで頂いている。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | トイレに誘導し、失敗することなくトイレで排泄できるよう支援している。 | | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 日常的に体操を行い、歩行の呼びかけや、水分摂取量の確保を心掛け、薬だけに頼らないようにしている。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | お風呂に入りたいといった利用者の意見を確認後、入浴して頂いている。また数種類の入浴剤を用意し、色と香りも楽しんで頂いている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 利用者の使い慣れた物や好みの寝具で休んで頂いている。 | | |
| 47 | | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | ・服薬中の薬の情報を台帳にファイリングし、職員全員が見れるようにしている。<br>・会議の中で各スタッフが担当利用者が服薬中の薬の種類や効能について、発表を行い、より薬についての理解を深めるようにした。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 面接シートや会話の中から、情報を得て、支援を行っている。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 気候の良い季節は可能な限り、外出を心掛けている。また遠出希望の利用者に対しては、家族の協力をお願いしている。 | | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 本人や家族の希望であればお金は本人に管理して頂き、買い物の際は職員が付き添っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 電話は自由にかけて頂いている。手紙は声掛けしてもなかなか書くには至らない状態。 | | |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節に応じた飾り付けを行い、カーテンや家具は落ち着いた色の物を使用し、心地良く過ごして頂けるよう工夫している。 | | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | テレビの前にソファーを置き、ゆっくりテレビを観たり、仲間とのおしゃべりに使用して頂いたりしている。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 使い慣れた家具を持ってきて頂き、配置は必ず本人と家族の意見を優先して決めている。 | | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 手すりを設置し、安全に移動できるようにしている。 | | |

令和2年度

# 目標達成計画

事業所名 ライフハウス平戸

作成日: 令和 3年 3月10日

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4 | 市町村との連携強化 | 現在、コロナの為、連携が取れていない。会う事はむずかしいが電話などで連携を取る | ・地域ケアプラザの方と連携を取り、コロナの中でも市町村で出来る事を考える。 | 6ヶ月 |
| 2 | 20 | 居室の居心地の良さを高める。 | 面会がきびしい現状、家族を忘れない為、写真などを送ってもらい居室のかざりつけをする。 | ・家族に連絡。色とな写真を送ってもらい利用者とコミュニケーションも強化 | 6ヶ月 |
| 3 | | | | | ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |